

# としょかんだより(学而) No. 83

2006.10

「<sup>がくじ</sup>学而」 = 学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学びて時にこれを習う、<sup>まよろこ</sup>亦た説ばしからずや -

\* 題字は 森本学長による

## 図書館の新しい取り組み

図書館長 <sup>し</sup> 穴 <sup>ど</sup> 戸 <sup>みち</sup> 通 <sup>やす</sup> 庸



摂南大学の中央キャンパス、芝庭を囲む通路の先にある今年4月一新した10号館。キャンパスの中でひととき目立つ、どっしりとしたガラス張りの建物は周囲を植木で囲まれた、外観の美しさが際立っています。この建物は情報メディアセンターと名づけられており、知識・情報を集積・発信する場として大学の中核を形成しています。実際、開館以来学生の出入りが一番多い建物です。10号館入り口には大型テレビを備えたラウンジがあって、大きなソファや談笑のためのテーブルが設置されており、学生たちの交流の場となっています。

図書館はこの建物の地下1階から3階までの広くゆったりとしたスペースを占めています。そして、3階には各種の講演会、講座、映画の上演と多目的に使用できる120名収容可能なプチシアトルが付属されており、新しい図書館の企画を実施する場として用意されています。

図書館は研究、学習、教育の場として大学の知を象徴するものですが、インターネットの進歩とともに図書館の機能も変化しています。特に、急速な「電子化」は図書館内外からの資料の検索等の直接的なアクセスを容易にし、摂南大学図書館を取り巻く環境も変化しています。こうした変化に伴い、図書館報の「学而」を「としょかんだより(学而)」に変更し、学生にとって身近な時宜にあった情報や役に立つ記事を掲載して有益なニュースレターにしていきたいと考えています。ただし、必要に応じて学術記事の掲載は続けたいと思っています。

なお、新しい図書館開館にともない、図書館と

して考えている今年度の企画は次の通りです。

1. 毎週「映画の日」を設定し、学生が映像を通じて世界を学ぶ喜びを広げていきます。これには映画研究会の学生たちの協力をはじめ学生の視点を反映します。すでに今年度6月より実施しており好評を得ています。
2. 随時、スピーカー（講演者）を招いて学生の見聞を広げる機会をもちます。学生の教養、将来デザインに役立つ企画を心がけていきます。
3. 日本語での表現力を高めるため「図書館書評大賞」を設け、学生に読書への興味を喚起する場を与えます。
4. 地域への教育支援を図書館からも発信し、地域との連携を深めます。

「としょかんだより(学而)」の発刊に関しては図書館報としての体裁・内容は維持しつつ、従来の枠にとらわれず学生から実行委員を募り、学生にとってより一層図書館が身近な存在となるよう学生の考えも取り入れた学生参加型の紙面を心がけていきます。

図書館が日常生活の中で一日一回は足を運ぶ場となって学生の関心と興味が向けられ学習・研究にとって快適に過ごせる場となるよう願っています。また、図書館の利用等については意見箱を設けています。

学生からの率直な意見を聞いて利用しやすい図書館をつくっていききたいというのが図書館員全員の願いです。今後ともご協力をお願いします。

### CONTENTS

図書館の新しい取り組み(穴戸 通庸) ..... 1

図書館プチシアトル - Take off - ..... 2

摂南大学図書館書評大賞 ..... 3

図書館の動き ..... 4

# 図書館プチテアトル -Take off-



本年4月、図書館「プチテアトル」は新10号館竣工とともに、キャンパスへ出航しました。プチテアトルは、全席テーブル付のシートが120席、大型スクリーンを備え、音響設備もスクリーンの大きさに負けない迫力があります。ちょっとした劇場の雰囲気味わえる多目的小ホールとなっています。オープン以来、学生・教職員、地域連携センターや課外活動団体の活動など、多くの行事に利用されています。

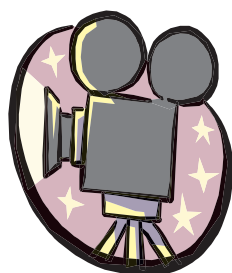
## 映画鑑賞会

図書館では、この施設を利用して、学生のみなさんに楽しみながら、多角的に世界を見て知ってもらおうと、映画鑑賞会を催しています。名付けて「映画の日」。

また、映画のほか、今秋にはその道で活躍されている方々の講演会なども企画しています。ぜひ、図書館プチテアトルへお運びください。

もちろん、皆さんのさまざまな活動にも対応できます。

プチテアトルの利用については、図書館へお問い合わせください。



10月の「映画の日」の予定は次のとおりです。

- 10月 5日 (木)
  - 10月12日 (木)
  - 10月19日 (木)
  - 10月26日 (木)
- } 開場時刻16:10、上映開始16:30です。

皆様のご来場をお待ちしています。

## 図書館主催 秋の講演会

(詳細は掲示をご覧ください。)

開催日時	講師	講師略歴
10月3日(火) 14:40~15:40	なかにし ゆうこ 中西 悠子 氏	大阪府出身、木幸スポーツ企画所属(枚方市)、2005年モントリオール世界水泳、2004年アテネ五輪、2003年バルセロナ世界水泳選手権それぞれにおいて200メートルバタフライで銅メダルを獲得、オリンピック特別強化選手、世界トップ3のスイマーに数えられている。
11月3日(金) 未定	ひやま かずし 檜山 和司 氏	プロのホテルエ、1996年第1回メートル・ド・テルコンクール優勝者、メイユール・セルヴィス代表、元神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ「トップオブシェラトン」マネージャー、「感動を与えるサービス」、「ワインとナチュラルチーズの楽しみ方」等ホテルの接客、もてなし方の第一人者。



## 摂南大学図書館書評大賞を設置しました！

図書館の掲示を前にして、とある学生君の会話。

「図書館書評大賞」ってなんだ？

なんでも今年、摂大図書館に出来たそうだけど、何かようわからんなあー。

まず、「書評」って言葉がわからん。「ショヒョウ」なあ。

書評 = 「書物の内容を批評・紹介すること」(広辞苑) とある。

なんか、わかったようなわからんような・・・、やっぱり、ようわからん。

新聞で「書評欄」なんてのをタマに見かけるけど、あれのことかなあ？

「週刊読書人」(日本書籍出版協会) というのは、書評専門誌だってね。日刊新聞の読書欄っていうのも、たいがい書評やね。だいたい日曜日に載ってるやつやね。この辺を読めばイメージが湧いてくるかも・・・。

書評大賞のポスターの副題には「日本語を見直そう！」と書いてある。最近の売れ筋本に日本語関係の図書が多いのと少しは関係がある。日本語の乱れを指摘する声も多い。企業採用担当者は学生のコミュニケーション能力の低さを嘆く。そんなこんな、あれこれを解決していく糸口になればと思い、書評大賞がスタートしました。とにかく自分の興味のある本を読んでみましょう。読み終えたら内容を簡潔にまとめ、その本の魅力をほかの人に伝える紹介文を書いてみましょう。さらに自分なりの評価や分析が付け加えられたら、それが書評です。難しく考える前に、他人の書評をいくつか読んでみてください。イメージさえわかれば、後は本との出会いだけです。

さて、書評大賞への応募について簡単にまとめておきます。

応募資格：摂南大学の学生。ただし、大学院生は除く。

対象図書：本学図書館所蔵図書

字数：800字～1200字

締切：2006年10月27日(金)

提出先：図書館カウンター

表彰：大賞1名 (図書カード2万円)

優秀賞2名 (図書カード5千円)

佳作3名 (図書カード3千円)

審査：図書館長と図書館運営委員ほか。

その他：協賛企業の(株)紀伊國屋書店、(株)丸善書店、(株)ジュンク堂書店から賞品があります。

入選発表：2006年12月15日(金)

★ 詳細は掲示ポスターを見てください。



現在までの応募状況は、若干名です。まだまだ間に合います。

書評大賞を通じて本を読む喜び、文章を書く楽しみをあなたも体験してみてください。摂大図書館はそんなアナタを応援しています。

そして、日本語を見直してもらえればと考えています。

## 図書館の動き

### ◎ 日本薬学図書館「近畿・中国・四国地区協議会」開催

5月17日(水)、第36回日本薬学図書館協議会の近畿・中国・四国地区協議会総会・研究会が、本年2月竣工の寝屋川キャンパス10号館プチテアトル(AVホール)を会場にして、薬学部設置大学、製薬会社から多数の来学を得て、近年にない参加者数の下、開催されました。

この協議会は、加盟館の持ち回りで開催されており、本年度は、本学がその当番校でした。

当日は、総会の後、講師に紀伊國屋書店の永井光太郎氏を迎え、「電子ジャーナルの新しい動きについて：オープンアクセスジャーナルと機関レポジトリを中心に」をテーマに掲げて、研究会を行いました。

最後に私たちにとって身近かな水をテーマにした、本学薬学部の中室克彦教授による「水は健康を育む」と題した講演が行われました。

会はその後、10号館図書館、諸施設の見学を行いました。参加者からは、「新しい図書館の素晴らしさには、感銘をうけました。」「11号館最上階のラウンジが学生さんに開放されているのには、御校の学生サービスの豊かさに、見習うべき点が多々あることを知らされました。」などの意見が沢山ありました。

改めて、学生サービスの大切さを実感させられた一日でした。

### ◎ 「おもしろ図書館実行委員」スタート！

本年度から図書館運営に「学生の声を生かそう」という提案を実行に移すことにしました。

そこでさっそく協力をお願いする学生諸君を募集しました。

名づけて「おもしろ図書館実行委員」。ジッコウイインと言えば何か窮屈で堅苦しうに思いがちですが、実際は楽しい仲間の集まりになりました。今回は5名の方が応募してくれました。応募の動機はさまざまですが、「何かおもしろそう」と興味を持ってくれたようです。男子3名、女子2名の構成です。さて、委員の活動内容を簡単に紹介します。



図書や(消耗品)雑誌の選定  
映画やビデオソフトの選定  
図書館報(「としょかんだより(学而)」の発行等)について意見を述べる  
その他、図書館の管理・運営について、学生の立場から意見を述べる  
目的は、何よりも学生の声を図書館の運営の中に生かす！ということです。  
今までの図書館にない新しい風を吹き込んでくれることでしょうか。ご期待ください。

### ◎ 第72回国際図書館連盟年次大会に参加

宍戸館長は8月20日～8月24日の間、韓国ソウルで開催された「第72回国際図書館連盟年次大会」に出席し、各国図書館関係者との交流、親交を深めました。

### 編集後記

装いをあらたにした「としょかんだより(学而)」、いかがでしたでしょうか。みなさまのご意見をお待ちしています。

摂南大学図書館報「としょかんだより(学而)」 83 2006.10

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171